



園長先生と勉強しよう！

学校の勉強が大切です。もし分からないところがあって、保護者の皆様も、どのように教えたら良いか困ったら、「ひよ子こども園」に来て下さい。

「お子様が、どこでつまづいているのか？」
 「どのように教えるとわかるのか？」
 「やる気をあげる教え方はどのようにするのか？」

お子様に指導するところを見ていただき、参考にしてください。ひよ子こども園にお電話をください。ご連絡お待ちしております。

苦手な時計を勉強しました！

「時計が苦手で…」という声をよく耳にします。でも、どうか心配しないでください。たとえ2年生で理解できなかったとしても、子どもは成長とともに自然と理解できるようになります。大人が心がけておかなければいけないことは、「〇〇ができない」こと自体ではなく、それによって苦手意識をもち、算数そのものを嫌いになってしまうことです。ここが一番避けたいポイントです。

私が指導している様子を見ていただき、保護者さまに「ああ、そうやって教えればいいのか！」と理解してもらえれば、ご家庭でも自然なサポートが可能になります。

そして何より嬉しいのは、子どもたちが「園長先生と勉強すると楽しい！」と言ってくれることです。このような体験を通して、「困ったときにはここに来ればいい」という安心感が生まれ、それが保護者さまの不安軽減になれば幸いです。



共有型それとも強制型？

子どもとどう関わるか。それは親として最も大切な姿勢のひとつです。特に「共有型」と「強制型」という二つのスタイルについてお話します。

「共有型の親」は、子どもの思いや考えに耳を傾け、共に考え、共に悩み、そして共に喜びます。この関係性の中で、子どもは「自分は受け入れられている」「尊重されている」と感じ、主体性と自己肯定感が自然と育まれます。

一方で、強制型の親は、指示や命令を重ね、結果だけを重視する傾向があります。「こうしなさい」「なんでできないの？」といった言葉は、子どもの心にプレッシャーとストレスを与え、「どうせダメなんだ」という思いを植え付けてしまうこともあります。プロセスを見ずに結果だけで評価することで、子どものやる気を奪い、挑戦する意欲さえ失わせてしまいます。

親として、子どもに求める「理想」はあるでしょう。しかしその理想を一方的に押し付けるのではなく、共に歩む姿勢が大切です。子どもの目線に立ち、心の声に耳を傾けてください。命令ではなく、対話を。評価ではなく、共感を。

あなたのその一歩が、子どもの未来を大きく変えるのです。